

令和 6 年度

# 事業計画書



**Nara Visitors Bureau**

一般財団法人 奈良県ビジターズビューロー

## 目 次

世界的なDMOをめざして .....	1
(事業の内容)	
I 旅行商品の造成および販売 .....	2
1 外部専門人材の活用	
2 ファムトリップ実施・海外事業者との関係構築	
3 インバウンド旅行商品販売	
4 国内旅行商品販売	
5 ネット商品販売	
6 旅行販売サイト運用業務	
II 魅力ある観光地域づくり促進事業 .....	3
1 在庫管理システムの活用	
2 旅行商品受託販売	
(1)「うまし奈良めぐり実行委員会」事務局運営	
(2)東大寺二月堂修二会(お水取り)セミナー	
3 奈良ファン倶楽部	
4 奈良仏像カレンダー	
5 アンテナショップ	
6 地域ネットワーク構築	
III 地域連携DMO推進事業 .....	4
1 JRキャンペーン連携	
2 奈良県観光キャンペーン連携	
3 旅行商品等販売営業活動	
4 奈良県観光情報サイト管理運営	
5 全国広域観光振興支援	
6 観光インフォメーションセンター運営支援	
7 コンサルティング・受託業務	
8 各種行事への協賛	
IV MICE 誘致・開催支援事業 .....	5
1 コンベンション開催誘致支援事業	
2 国際コンベンション運営事業	
3 コンベンション関連団体連携	
令和6年度収支予算書 .....	7

## 世界的なDMOをめざして

日本の人口減少に伴い国内旅行者数が減少傾向にある中、増え続けるインバウンド旅行者を奈良県全体の観光産業の振興と地域活性化に結び付けることが、我々の課題です。

奈良県に来訪するインバウンド旅行者は、北部の奈良公園周辺に集中しており、すでにオーバーツーリズム等による問題が発生している一方で、奈良県南部や北部においても集客できていないエリアが数多くあります。集中するインバウンド旅行者を分散化し、奈良県全体への経済波及を推進するためには、エリアごとの戦略素材や受入環境等に合わせたプロモーションの実施と受入環境整備が必要です。

また、奈良県だけの集客にとらわれず、近隣県と連携し広域としてのdestinationブランディングを推進することで、結果的には奈良県内の滞在期間や消費額の増加につながります。

令和5年度からスタートした「地方における高付加価値なインバウンド観光地づくり事業（観光庁）」では、数年にわたり総合的な施策を集中的に講じるモデル地域の1つとして紀伊半島が選定されました。当財団は、事務局として和歌山県、三重県、奈良県と連携しながら、紀伊半島という3県にわたる広域のスケールメリットを活かしたブランディングを進めており、紀伊半島が持つ戦略素材と親和性の高い英・仏・米・豪の高付加価値旅行者層をメインターゲットとして設定。引き続きターゲットに合わせた誘客施策と受入環境整備を進めていくことで、奈良県の消費額拡大に努めてまいります。

私たちは、奈良県全体の経済活性化をミッションに掲げ、一次産業としての農林漁業、二次産業としての製造業、三次産業としての小売業等の事業の総合的かつ一体的な推進をモットーに、地域マーケティングを行うための面的DX化、国費獲得によるプロモーション実施、地域の受入環境整備、さらに旅行事業による奈良県内の経済効果最大化を実行できる、地域から頼られるコンサルティング集団を目指し、精進してまいります。

## I 旅行商品の造成および販売

### 1 外部専門人材の活用

富裕層誘客の観点から、専門的知見を有する人材を活用し、高付加価値な旅行者受入体制の強化（ホテル誘致・整備）、観光 DX の推進および観光事業者間のネットワークの構築を通して、高いレベルで統一されたサービス提供体制を整備します。

### 2 ファムトリップ実施・海外事業者との関係構築

欧米豪マーケットを中心に現地旅行会社への営業活動を行います。現地への直接営業やファミトリップ等対面での関係構築に取り組みます。

### 3 インバウンド旅行商品販売

海外旅行会社及びランドオペレーター（※国内主要旅行会社含む）への営業、インバウンド向けの旅行商品造成・販売を継続し、誘客促進に繋がります。県中南和「紀伊半島」エリアの周遊型旅行を重点的に取り組みます。

・令和6年度販売目標：34,000 千円

### 4 国内旅行商品販売

お客様の希望通りに旅をデザインするオーダーメイド型旅行をベースに日本人向けの旅行商品を造成・販売します。県中南和「紀伊半島」エリアの周遊型旅行を重点的に取り組みます。

・令和6年度販売目標：3,000 千円

### 5 ネット商品販売

旅行者が、直接かつ簡易に予約できる自社の予約販売サイトや外部OTAを活用し、県内の社寺及び事業者が実施する奈良の特色を活かした魅力ある体験プログラムを数多く発信・販売することで、地域への活性化及び還元に繋がります。

・令和6年度販売目標：3,000 千円

### 6 旅行販売サイト運用業務

オーダーメイドサイト及び予約サイトの検索順位を上昇させ、WEB サイトの認知度向上を図り、外国人観光客に対する情報環境の整備を行います。SNS も活用し、若年層への認知度向上を図ります。

## II 魅力ある観光地域づくり促進事業

### 1 在庫管理システムの活用

県内事業者が無料で活用可能である商品在庫管理システム「TXJ」および他社OTAサイト等を活用し、県内事業者の宿泊・体験プログラム・物販をオンライン上で販売することにより、県内消費額の向上に寄与します。

・令和6年度販売目標：12,400千円

### 2 旅行商品受託販売

#### (1)「うまし奈良めぐり実行委員会」事務局運営

奈良県でのオフ期を中心とした宿泊滞在を促進するため「うまし奈良めぐり」観光キャンペーンを展開しています。当ビューローは「うまし奈良めぐり実行委員会」事務局を運営し、商品の企画・広報・販売・オペレーション・精算業務を行います。

・令和6年度集客目標：9,800名

#### (2) 東大寺二月堂修二会（お水取り）セミナー

例年、奈良を代表する伝統行事の意義・歴史・行法を正しく伝えるセミナーを開催し、旅行会社及び地元宿泊施設の宿泊プラン等により販売を行うとともに、当ビューローが「東大寺二月堂修二会（お水取り）セミナー実行委員会」の事務局を運営し、商品の企画・販売・オペレーション・精算業務を行ってまいりました。

令和6年度はアフターコロナを踏まえた新たな事業展開を模索中です。

※令和元年度から令和5年度は全て開催中止

### 3 奈良ファン倶楽部

奈良をより深く知りたい方のニーズにお答えするコミュニティ「奈良ファン倶楽部」の運営を行い、旬な観光情報の提供、奈良の歴史・文化を深堀する「解説付き特別拝観」の実施等を通じて、コアな“奈良ファン”を創出します。

奈良県内への誘客、ファン倶楽部活動の認知度向上に努め、新規会員獲得に向けて取り組んでまいります。

### 4 奈良仏像カレンダー

県内の魅力溢れる仏像を、高精細な画質で紹介する「奈良仏像カレンダー2025」を制作し、県内や首都圏の書店、オンラインショップで販売を行い、観光PRに活用します。

(平成8年度から制作・販売し、令和6年度は29作目となる。)

## 5 アンテナショップ

県が外国人向けの宿泊施設として運営する「奈良県外国人観光客交流館（奈良県猿沢イン）」において、県中南和をはじめとする県内全域の地場産品等を販売するアンテナショップ兼コンビニエンスストアを運営しています。昨年の7月より地場産品の取り扱いを強化し、販売エリアを大幅に拡大しました。今後も外国人目線での取扱商品の更なる開拓や旅行事業や MICE 事業との連携による地場産品の販売に取り組み、地産地消を推進します。

・令和6年度販売目標：50,000千円

## 6 地域ネットワーク構築

奈良県を含む「紀伊半島」の経済活性化を目標に、奈良・和歌山・三重の3県が連携し、強固な地域ネットワーク構築を図っております。

令和6年度以降も、国庫補助を活用した「地方における高付加価値なインバウンド観光地づくり事業」を継続的に実施し、紀伊半島として広域ブランディングの確立を目指し、英、仏、米、豪での認知拡大や旅行会社等とのコネクションづくりによる販路拡大のための対象市場での営業活動、旅行会社・メディア等を招請したFAM TRIPの実施、紀伊半島のインバウンド受入環境整備、さらに、これらの事業を推し進めていく地域経営主体の設立に向けての検討等、様々な事業を展開していきます。

# Ⅲ 地域連携DMO推進事業

## 1 JRキャンペーン連携

首都圏からのより効果的な誘客促進を図るため、首都圏でのPR効果の高いJR東海の「いざいざ奈良」キャンペーンと連動し、関連する県内主要社寺を中心に奈良の魅力ある歴史・文化等の観光資源を活用し、効果的な誘客促進を図ります。

## 2 奈良県観光キャンペーン連携

奈良県との連携を強化し、県が主体として実施する「奈良県観光キャンペーン」と連携した県内主要社寺及び各地域の魅力ある観光資源のPR等を展開するとともに、より販売効果の高い着地型旅行商品の造成に努めます。

## 3 旅行商品等販売営業活動

国内外を問わず、地域活性化に向けて着地旅行商品や特産品等を販売していくために営業展開を行います。

#### 4 奈良県観光情報サイト管理運営

県公式サイト「あをによしなら旅ネット」を管理運営し、県内の社寺・市町村・交通事業者等から収集した観光情報を発信することで、観光客の利便性向上や情報収集満足度を高めるとともに、SNSによる情報発信にも積極的に取り組み、奈良ファンの創出、誘客促進に繋がります。また、情報発信から商品の購入に直接つなげ、奈良県の消費額アップに貢献していきます。

- ・奈良県内の旬な観光情報やおすすめプラン、モデルコース等の掲載
- ・掲載された情報から購入サイト（オンラインショップ）への誘導
- ・各事業と連携した企画の情報発信
- ・令和6年度目標：1,000万PV

#### 5 全国広域観光振興支援

公益社団法人日本観光振興協会が実施する広域連携による観光振興（観光展の開催、観光資料の作成）、人材の育成等の事業に参画します。

- ・ツーリズム EXPO ジャパンへの出展参画
- ・観光ガイドマップ「ウェルカム関西」等への観光情報の提供
- ・台湾における Facebook を活用した情報発信

#### 6 観光インフォメーションセンター運営支援

東大寺や夢風ひろば内において、外国人観光客等に観光案内業務を行う「奈良県観光インフォメーションセンター」を管理運営し、奈良県猿沢インとの連携を図りながら、情報発信の強化並びに利便性の向上を図ります。

#### 7 コンサルティング・受託業務

地域連携DMOとしてあらゆる観光産業に関する業務の企画・運営・アドバイスを  
行うコンサルティング業務と、イベント及び市町村の観光案内所（橿原市観光交流センター）等の管理運営業務を受託することにより、地域観光経済の活性化に繋がります。

#### 8 各種行事への協賛

奈良県内への誘客促進を図る関連団体及び各種行催事への協賛、実行委員会等への参画により側面支援を行います。

### IV MICE誘致・開催支援事業

#### 1 コンベンション開催誘致支援事業

コンベンション開催の決定権を持つ大学及び学会のキーパーソンや開催実績のある関係機関からの情報収集を行うとともに、奈良県内での学会開催に向けてそれぞれ

のニーズに応じたコンベンション開催支援プログラムを提案します。

また、コンベンション主催者に対し「大規模コンベンション開催助成金（シャトルバス助成含む）」、「国内コンベンション開催助成金」、「奈良らしい MICE 開催助成金（※アフターコンベンション開催助成金）」の活用を促すとともに開催会場への看板支援や地場製品の展示・販売、アトラクション・エクスカージョンの提案・手配等を行うことにより、奈良県内での開催動機と今後のリピート率向上に努めます。

## 2 国際コンベンション運営事業

経済効果の高い国際会議を中心とした誘致支援活動を展開するため、国際会議主催者に対して「国際コンベンション開催助成金」の活用を促し、奈良県内での開催動機と今後のリピート率向上に繋げるとともに、開催会場への看板支援や参加者に提供する支援ツールの作成等、充実したコンベンション運営サポートを実施します。

## 3 コンベンション関連団体連携

MICE 商談会等でアプローチを図った旅行会社及びキーパーソン等を招聘し、奈良県内の魅力ある観光資源・体験プログラムを活用したファムトリップを実施することにより、インセンティブ旅行の誘致促進に繋げるとともに、新たな MICE 誘客拡大を目指します。



# 令和6年度収支予算書

(単位：円)

科目	R6年度 予算	R5年度 予算	増減
<b>I. 事業活動収支の部</b>			
<b>1. 事業活動収入</b>			
国庫補助金(観光庁等)	211,420,720	120,000,000	91,420,720
奈良県補助金(人件費)	84,679,000	83,019,000	1,660,000
奈良県補助金(事業費)	31,671,000	25,958,000	5,713,000
奈良県観光情報サイト管理運営	6,217,000	5,800,000	417,000
商品企画支援	0	508,000	△ 508,000
コンベンション開催誘致支援	14,937,000	10,924,000	4,013,000
全国広域観光振興支援	2,200,000	2,200,000	0
観光インフォメーションセンター運営支援	8,317,000	6,526,000	1,791,000
奈良市負担金	19,020,000	19,020,000	0
国際コンベンション開催助成金	3,400,000	3,400,000	0
運営事業補助	14,150,000	14,150,000	0
コンベンション関連団体との連携	1,470,000	1,470,000	0
商工会議所補助金	556,000	556,000	0
会費収入	9,529,000	9,189,000	340,000
基本財産運用収入	1,937,430	2,152,000	△ 214,570
受託事業売上	66,700,000	61,200,000	5,500,000
コンサルティング・受託事業	65,000,000	60,000,000	5,000,000
旅行商品受託販売手数料	1,700,000	1,200,000	500,000
事業売上	99,600,000	100,470,000	△ 870,000
インバウンド旅行商品販売収入	34,000,000	28,000,000	6,000,000
国内旅行商品販売収入	3,000,000	7,170,000	△ 4,170,000
ネット商品販売収入	3,000,000	5,000,000	△ 2,000,000
アンテナショップ販売収入	50,000,000	50,000,000	0
コンベンション関連事業収入	600,000	600,000	0
奈良ファン倶楽部会費等収入	2,600,000	3,300,000	△ 700,000
大和路カレンダー販売収入	6,400,000	6,400,000	0
その他(雑収入等)	200,000	200,000	0
<b>事業活動収入合計</b>	<b>525,313,150</b>	<b>421,764,000</b>	<b>103,549,150</b>

## 令和6年度収支予算書

(単位：円)

科目	R6年度 予算	R5年度 予算	増減
<b>2. 事業活動支出</b>			
インバウンド向け旅行商品の販売	79,220,720	106,200,000	△ 26,979,280
外部専門人材の活用	31,420,720	15,000,000	16,420,720
ファムトリップ実施・海外事業者との関係構築	15,000,000	65,000,000	△ 50,000,000
インバウンド旅行商品販売	29,000,000	22,400,000	6,600,000
WEB運用業務	3,800,000	3,800,000	0
魅力ある観光地域づくり促進事業	241,068,000	107,200,000	133,868,000
国内旅行商品販売	1,700,000	5,700,000	△ 4,000,000
ネット商品販売	2,000,000	4,000,000	△ 2,000,000
旅行商品販売受託	0	100,000	△ 100,000
奈良ファン倶楽部	1,700,000	3,300,000	△ 1,600,000
大和路カレンダー	5,668,000	6,100,000	△ 432,000
アンテナショップ	50,000,000	48,000,000	2,000,000
地域ネットワーク構築	180,000,000	40,000,000	140,000,000
地域連携DMO推進事業	78,935,000	78,219,000	716,000
JRキャンペーン連携	2,500,000	2,500,000	0
奈良県観光キャンペーン連携	2,500,000	2,500,000	0
旅行商品販売営業活動	1,000,000	1,000,000	0
奈良県観光情報サイト管理運営	6,217,000	5,800,000	417,000
商品企画支援	0	508,000	△ 508,000
全国広域観光振興支援	2,201,000	2,201,000	0
観光インフォメーションセンター運営支援	8,317,000	7,510,000	807,000
コンサルティング・受託業務	55,000,000	55,000,000	0
各種行事等への協賛	1,200,000	1,200,000	0

## 令和6年度収支予算書

(単位：円)

科目	R6年度 予算	R5年度 予算	増減
コンベンション誘致・開催支援事業	23,957,000	19,944,000	4,013,000
コンベンション開催誘致支援	14,937,000	10,924,000	4,013,000
国際コンベンション運営事業	7,550,000	7,550,000	0
コンベンション関連団体連携	1,470,000	1,470,000	0
管理費	110,375,000	104,019,000	6,356,000
人件費(奈良県補助)	84,679,000	83,019,000	1,660,000
人件費(奈良市補助)	10,000,000	10,000,000	0
人件費	8,696,000	4,000,000	4,696,000
管理費	7,000,000	7,000,000	0
<b>事業活動支出合計</b>	<b>533,555,720</b>	<b>415,582,000</b>	<b>117,973,720</b>
<b>事業活動収支差額</b>	<b>△ 8,242,570</b>	<b>6,182,000</b>	<b>△ 14,424,570</b>
<b>Ⅱ. 投資活動収支の部</b>			
1. 投資活動収入	100,000,000	100,000,000	0
短期借入金	100,000,000	100,000,000	0
2. 投資活動支出	0	0	0
投資活動収支差額	100,000,000	100,000,000	0
<b>Ⅲ. 予備費支出</b>	0	0	0
<b>当期収支差額</b>	<b>91,757,430</b>	<b>106,182,000</b>	<b>△ 14,424,570</b>
<b>前期繰越収支差額</b>	<b>40,000,000</b>	<b>15,000,000</b>	<b>25,000,000</b>
<b>次期繰越収支差額</b>	<b>131,757,430</b>	<b>121,182,000</b>	<b>10,575,430</b>